

事業所名

わいわい子ども教室 那覇校

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2024 年

10 月

11 日

法人（事業所）理念		子ども達の力を引き出す、児童生徒が安心して通える放課後等デイサービス。学校の時間に通所し、10人以下の少人数プログラム、個別プログラムを提供している。						
支援方針		利用される方々とその家族の365日24時間を考えた支援持続可能で、質の高いサービスの実現。 支援の提供と支援の質の向上業種間の垣根を超えたチーム作り。			適切な			
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>*健康状態の維持、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スタイルの獲得。 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。睡眠、食事の基本的な生活のリズムを身に付けられるようにする。日常生活を円滑に営めるよう、それぞれの子どもに適した社会的訓練を行う。Teacchプログラムを参考にして、子どもの特性に合わせた環境面からのアプローチを実践する。 ・当事業所のプログラムは、①料理やお菓子作りを通じた食育。②時間に応じた行動の切り替え。③構造化を意識した子どもへの指示。</p>						
	運動・感覚	<p>*感覚の特性（感覚の過敏や麻痺）への対応。筋力の維持強化。 一人一人の子どもを適切に評価し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持・強化を図る。感覚や認知の特性を踏まえて、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援を行う。 ・当事業所のプログラムは、スポーツなどを通じた運動療育、視覚や聴覚を刺激するようなゲームやクイズ、感覚過敏な生徒に配慮した環境設定。</p>						
	認知・行動	<p>*製作活動を行い手先指先を使い、時間をかけて一つの作品を作り上げる喜びや達成感を味わう。 一年を通して季節に合った行事を体験することにより、季節の流れや時間の流れを感じる。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生じる行動障害に対して、事前に環境調整などの予防策を講じ、適切行動の獲得に向けた適切な支援を行う。 ・当事業所のプログラムは、季節の行事や手芸などの製作活動。</p>						
	言語 コミュニケーション	<p>*コミュニケーションの基本的能力の向上。 ・職員と関わり人間関係を構築する。職員と継続的に関わることにより信頼関係を継続し安心感を得る。自分の気持ちを言語化し、他者に伝え伝える喜びを知り意志疎通を体験する。障がいの特性に応じた学力向上の為の支援を行う。 ・当事業所のプログラムは、生活の中で起こる事柄に対するロールプレイング、考えを発表したり好きなことをプレゼンし、その活動のリーダーとなって他者と関わりを持つ。ソーシャルスキルトレーニング、ライフスキルトレーニングを行う。</p>						
	人間関係 社会性	<p>*他者と関わり人間関係の形成、自己の理解と行動の調整、仲間作りと集団への参加。 ・職員と関わり人間関係を構築する。職員と継続的に関わることにより信頼関係を継続し安心感を得る。集団活動を通じ、協力して一つのことを成し遂げる感覚を得る。集団活動の中で他者と同じ体験を共有し一体感を得る。同年代の他者と繋がる安心できる場所になる。自分の行動の特徴を理解すると共に、気持ちや感情をコントロールできるように支援する。 ・当事業所のプログラムは、ソーシャルスキルトレーニング、ライフスキルトレーニングレクリエーション、お出かけイベントで協調性や社交性の獲得、成功体験の積み重ねの支援。</p>						
家族支援		<p>*関係者、関係機関との連携による支援。 ・子どもに関する情報の提供と定期的な支援調整。子育て上の課題の聞き取りと必要な支援。子どもの発達上の課題についての気づきの促しとその後の支援。相談専門委員との定期的な支援会議、支援計画の調整。家族プログラムの実施。 ・家族が安心して子育てができるように負担軽減、物理的及び心理的支援を行う。</p>			移行支援		<p>*配慮された移行支援、同年代の子どもとの仲間作り。 ・ライフステージの切り替えを見据えた地域の生活の場や、育ちの場との交流と情報交換。 ・子どもや保護者との意志の疎通、復学や進学に向けて関係機関との情報共有や支援会議を行う。</p>	
地域支援・地域連携		他の通所支援事業所との交流と情報交換、地域連携会議への参加。			職員の質の向上		職員の各種勉強会や研修への参加、児発管等資格取得の支援あり	
主な行事等		季節の行事・食育プログラムの実施・お出かけイベント						